

- [redacted]
- [redacted]
- [redacted]
- [redacted]

マルチテナンシーの概要
マルチテナンシー セクションは、単一のログインから複数の顧客エンタープライズを管理する MSP およびエンタープライズマネージャーアカウントで利用できます。この章では、エンタープライズスコープ
モデル、エンタープライズの切り替え、管理対象エンタープライズの管理、サブアカウントについて説明し
ます。

マルチテナンシーアカウントを申請するには、 enterprise@cerberusapp.com
までご連絡ください。

主要な概念
メインマルチテナンシーアカウント
：グローバルなマルチテナンシーワークスペースにアクセスできる主要なマネージャーアカウント
。
サブアカウント
：メインアカウントによって作成された委任マネージャーアカウントで、エンタープライズの割り
当てを選択できます。
選択されたエンタープライズコンテキスト
：日々の運用のためにダッシュボードで現在開いているアクティブなエンタープライズ。
委任
：エンタープライズの所有者が付与する権限で、マネージャーアカウントがそのエンタープライズ
に参加して管理できるようにします。

ナビゲーションモデル
エンタープライズコンテキストが選択されていない場合、サイドナビゲーションには エンタープライズなどのマルチテナンシー領域が表示され、メインアカウントでは サブアカウントも表示されます。エンタープライズに参加すると、ダッシュボードは標準の単一エンタープライズナビゲー
ション（ホーム、ユーザー、デバイス、登録、ポリシーなど）に切り替わります。

所有権と委任

各管理対象エンタープライズには所有者がいます。所有者はそのエンタープライズに常にアクセスできます。所有者以外のマネージャーアカウントは、委任が許可された場合にのみエンタープライズにアクセスできます。

エンタープライズに独自の管理者ユーザーがいる場合、その管理者が所有者となり、どのマネージャーアカウントがエンタープライズにアクセスできるかを決定します。エンタープライズに独自の管理者ユーザーがいない場合、メインのマルチテナンシーアカウントが
所有者になります。
顧客管理者が所有するエンタープライズでは、メインアカウントは自身のアクセスが許可されてい
る間、自身のサブアカウントのアクセスを許可または取り消すことができますが、自身にアクセスを許可することはできません。
エンタープライズ管理者がメインアカウントのアクセスを取り消すと、そのサブアカウントのアク
セスも取り消されます。
サブアカウントの割り当てからエンタープライズを削除すると、そのサブアカウントのエンタープ
ライズへのアクセスも削除されます。後で再度割り当てる場合は、アクセスを再度許可する必要が
あります。

エンタープライズ管理者は、 設定 ページの エンタープライズマネージャーアクセス
カードからアクセスを管理します。

所有者と委任の状態はエンタープライズカードに直接表示され、エンタープライズに参加する前にア
クセススコープを明確にします。

ライセンスと請求のアクション
マルチテナンシービューには、ライセンスステータス、デバイス上限、エンタープライズの請求アクション
が表示されます。エンタープライズのサブスクリプション状態と権限に応じて、カードには 請求を管理または ライセンスを購入 が表示されます。

マルチテナンシーアカウントで作成されたエンタープライズでは、ライセンスはマルチテナンシーユーザー
によって管理されます。メインアカウントは常にライセンスを管理できますが、サブアカウントは、メイン
アカウントがそのサブアカウントに対して ライセンスの管理を許可
を有効にした場合にのみライセンスを管理できます。

この章のページ

管理対象エンタープライズ ：検索、フィルター、カードの詳細、エンタープライズの作成。

エンタープライズの切り替え ：上部スイッチャーの動作とスコープの遷移。

サブアカウント ：委任されたオペレーター、割り当て、認証情報の管理。

管理対象エンタープライズ
エンタープライズ ページ（ ダッシュボード → エンタープライズ
）は、管理対象エンタープライズへのアクセスを制御する中心的な場所です。マルチテナンシーアカウントで表示できるすべてのエンタープライズが一覧表示され、フィルタリング、所有権／委任の確認、エンター プライズコンテキストへの参加、新しい管理対象エンタープライズの作成（メインアカウントのみ）が可能
です。

検索とフィルター
エンタープライズを検索 ：エンタープライズ名またはエンタープライズ ID
でフィルタリングします。
委任 ：すべて 、委任済み 、または 未委任 。
ライセンスステータス ：すべて 、有効 、まもなく期限切れ 、期限切れ 、または 終了 。

エンタープライズカード
各エンタープライズカードには、主要な管理メタデータが表示されます：

ライセンスステータス （アイコンバッジと状況に応じたツールチップ付き）。
ライセンス済みデバイス （エンタープライズのデバイス上限）。
次回の更新予定日 または 有効期限日 （サブスクリプションの状態による）。
委任 の状態（ 所有者 、許可済み 、または 未許可 ）。
所有者 の表示名とユーザー名。

最近選択したエンタープライズ

最近アクセスしたエンタープライズは 最近選択した項目
セクションに固定され、繰り返しのコンテキスト切り替えを迅速化します。

エンタープライズのアクション
エンタープライズに参加
：委任／所有権によってアクセスが許可されている場合、選択したエンタープライズコンテキスト

を開きます。
請求を管理 ：利用可能で許可されている場合、エンタープライズの請求管理を開きます。
ライセンスを購入 ：請求が有効でない場合、エンタープライズの購入フローを開きます。

ライセンスを管理できるユーザー

マルチテナンシーアカウントで作成されたエンタープライズでは、ライセンス管理はマルチテナンシーユー ザーによって制御されます。メインアカウントは、これらのエンタープライズの請求およびライセンスのア
クションを常に管理できます。

サブアカウントが請求およびライセンスのアクションを管理できるのは、メインアカウントが

ライセンスの管理を許可 権限を サブアカウント ページで付与した場合のみです。

管理対象エンタープライズを作成
メインのマルチテナンシーアカウントは、下部のアクション領域から 管理対象エンタープライズを作成を展開できます。

エンタープライズ名 は必須です。
エンタープライズごとの管理者ユーザーを作成 は所有モードを制御します。
有効にすると、 管理者ユーザー名 （メール形式）と 管理者名 が必須になります。
作成前に、確認ダイアログに操作の概要が表示され、該当する場合は、一時的な認証情報が新しい
管理者ユーザーにメールで送信されることが警告されます。

新しい管理者ユーザーは、一時パスワードで初めてサインインするときに新しいパスワードを選択す
る必要があります。

所有モード

エンタープライズごとの管理者が有効
：新しい管理者ユーザーがエンタープライズを所有し、管理をマルチテナンシーアカウントに委任
できます。
エンタープライズごとの管理者が無効
：エンタープライズはマルチテナンシーアカウントによって直接所有されます。

エンタープライズのクォータ

アカウントが設定されたエンタープライズクォータに達すると、作成がブロックされ、フォームに現在のエンタープライズ数と最大数を含むサポート連絡先メッセージが表示されます。

エンタープライズクォータに達すると、上限が引き上げられるまで追加の管理対象エンタープライズを作成できません。

エンタープライズの切り替え
上部ツールバーのエンタープライズスイッチャーを使用すると、マルチテナンシーユーザーはログアウトせ
ずに委任されたエンタープライズ間を移動できます。少なくとも 1
つのエンタープライズコンテキストを選択できる場合に利用できます。

スイッチャーの動作
トリガーには、現在のエンタープライズ名（名前がない場合はエンタープライズ ID
）が表示されます。
メニューには、委任された／アクセス可能なエンタープライズが一覧表示され、現在のエンタープ
ライズが選択済みとして示されます。
切り替え中は、同時にスコープが変更されないように、スイッチャーのアクションが一時的に無効
になります。

エンタープライズを終了
スイッチャーメニューには エンタープライズを終了が含まれており、現在のエンタープライズコンテキストをクリアして、グローバルなマルチテナンシーワー
クスペースに戻ります。

コンテキストリセットのルール
エンタープライズを切り替えるか終了すると、ダッシュボードのスコープがリセットされます。エンタープライズ固有のページとデータは、新しく選択されたコンテキストで更新され、メニューの表示は現在エンタ
ープライズが選択されているかどうかに応じて変わります。

選択したエンタープライズは、開いているすべてのブラウザタブに適用されます。 1 つのタブでエンタープライズを切り替えたり終了したりすると、他のタブは次の操作時にダッシュボードを再読み込みするため、表示されているものとは異なるエンタープライズで操作されることはありません。

スイッチャーは迅速な運用コンテキストの変更に使用できますが、ポリシーの更新やデバイスコマン
ドなどの重要な操作を実行する前に、選択したエンタープライズ名を確認してください。

サブアカウント
サブアカウント ページ（ ダッシュボード → サブアカウント）は、メインのマルチテナンシーアカウントで利用できます。委任されたマネージャーユーザーの作成、管理対象エンタープライズの割り当て、請求権限の制御、サブアカウントの認証情報の管理が可能です。

サブアカウント一覧
各サブアカウントカードには、 IDと管理コントロールが表示されます：

名前 とユーザー名／メール 。
管理対象エンタープライズ の複数選択割り当て。
ライセンスの管理を許可 権限の切り替え。
パスワードをリセット および 削除 のアクション。

管理対象エンタープライズの割り当て
エンタープライズの割り当ては、 管理対象エンタープライズ
の複数選択フィールドで編集します。変更後にセレクターを閉じると、ダッシュボードは更新を保存する前に確認を求めます。

エンタープライズを割り当てるとサブアカウントで利用可能になりますが、サブアカウントがエンタープライズに参加できるのはアクセスが許可された後です。割り当てからエンタープライズを削除すると、そのサブアカウントのエンタープライズへのアクセスも削除されます。

ライセンス管理の権限
ライセンスの管理を許可
の切り替えにより、サブアカウントがエンタープライズの請求／ライセンス管理アクションにアクセスできるかどうかが制御されます。

マルチテナンシーアカウントで作成されたエンタープライズでは、メインアカウントは常にライセンス管理権限を持ちます。サブアカウントは、メインアカウントがこの切り替えを有効にした場合にのみライセンス管理権限を取得します。

パスワードのリセット
パスワードをリセット
は、新しい一時パスワードを生成し、確認後にサブアカウントにメールで送信します。

一時パスワードでサインインする場合、リセット後でも新しく作成されたサブアカウントでも、ユー
ザーは続行する前に新しいパスワードを選択する必要があります。

サブアカウントを削除
サブアカウントを削除するには確認が必要で、そのアカウントの委任アクセスが完全に削除されます。

サブアカウントを作成
下部のアクションパネル サブアカウントを作成 を使用して、新しい委任マネージャーを追加します。

メール ：必須で、メール形式として検証されます。
名前 ：必須の表示名。
ライセンスの管理を許可 ：任意の初期請求権限。作成前に、確認ダイアログで、指定したアドレスに一時パスワードのメールが送信されることが警
告されます。